

JASマークのついた「製材」をお選びください

「製材」は、立ち木をのこぎりでカットした丸太を、さらにのこぎりで板状あるいは角柱状にしたものをいいます。接着剤や集成加工などをしない、木そのものの材料であることから「無垢（むく）材」ともいわれ、自然にもっとも近い「生物材料」といえます。

「製材」は、自然の優しさをもっておりますから、見た目、香り、手触りなど私たちの感覚に、あたたかみ、やすらぎ、落ち着き、快適性などをもたらしめます。

これは、人類が森林を生れ故郷とし、その後、森林から草原へ進出したという進化の過程を経て、今も、生れ故郷の森林＝木の感触を持ちつづけ、なじむからではないかといわれております。

このようなことから、「製材」を建築材料とした木の家は、快適で、居心地よく、すごしやすい住空間をつくりだします。



JASマークのついている製材

JAS製材の等級は、圧縮・引張り・曲げなどの性能試験の結果から導き出された基準強度と節や割れなどの欠点の有無により区分されます

（等級は > > また1級>2級>3級の順となります。）

JAS製材は、綿密な品質管理のもとに製造され、構造の安定や部材の劣化の軽減など品質保証に信頼と安心をもたらします。

人工乾燥処理をしたJAS製材

木材を生そのまま使うと、必ず収縮し、曲がったり、割れたりし、柱と鴨居の間に隙間ができたり、床鳴りがしたり、クロスに割れができてしまいます。乾燥材を使うとこのような不具合がほとんど起きません。

住宅部材としての性能発揮のために乾燥は欠かせない条件となっています。

JAS乾燥材の使用を指定してください。